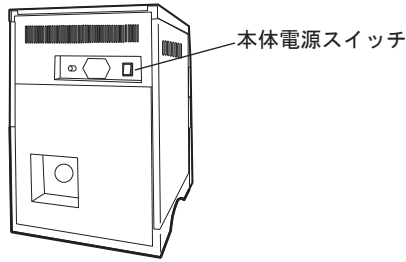


本書はHTEC-500/510の基本操作の概略を説明したものです。本装置のご使用に際しては、必ず付属の取扱説明書をよくお読み下さい。

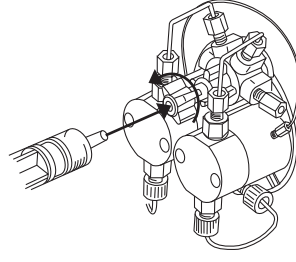
① 本体電源の投入



本体背面の電源スイッチをO→Iに切り替えて電源を投入します

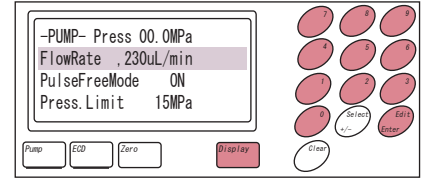
* 脱気装置および恒温槽は、本体電源投入と同時に作動を始めます

② 移動相の交換



正面扉を開け、ポンプヘッド部のドレンバルブにディスプレイリングを差込み、ドレンバルブを反時計回りにまわして、移動相を抜き取ります

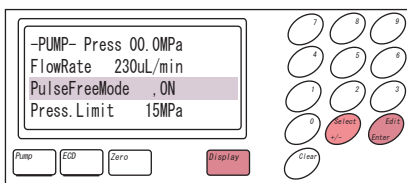
③ 流速設定



- Displayキーを押してポンプ設定画面を呼び出します
- Edit/Enterキーを押してFlowRateにカーソルを点滅させます
- 数字キーで流速(mL/min)を入力し、Edit/Enterキーを押して入力を確定します

* 本体電源投入直後の各パラメータは、前回設定値を記憶しています

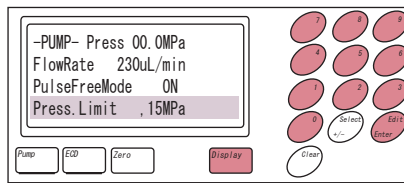
④ パルスフリーモード設定



- Displayキーでポンプ設定画面を呼び出します
- Edit/Enterキーを2回押して(または操作③に引き続き)PulseFreeModeにカーソルを点滅させます
- Select/+/-キーを押してパルスフリーモードのON/OFFを切り替え、Edit/Enterキーで入力を確定します

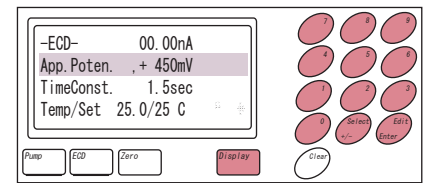
* 試料の分析中は必ずPulseFreeMode ONに設定して下さい

⑤ 圧カリリミッター設定



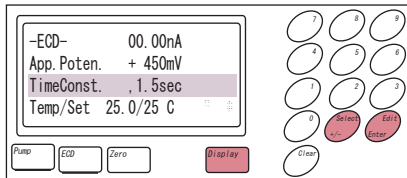
- Displayキーでポンプ設定画面を呼び出します
- Edit/Enterキーを3回押して(または操作④に引き続き)Press.Limitにカーソルを点滅させます
- 数字キーで圧力上限値(MPa)を入力し、Edit/Enterキーを押して入力を確定します

⑥ 印加電圧設定



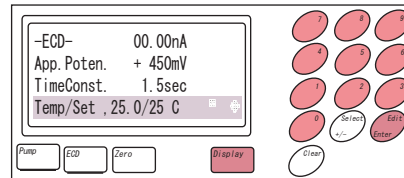
- Displayキーを押してECD/温度設定画面を呼び出します
- Edit/Enterキーを押してApp.Poten.にカーソルを点滅させます
- 数字キーで印加電圧値(mV)を入力します。±の切り換えはSelect/+/-キーで行います
- Edit/Enterキーを押して入力を確定します

⑦ 時定数設定



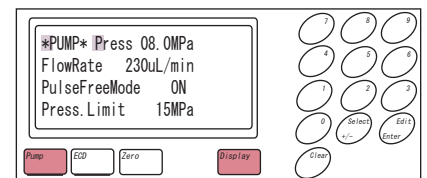
- Displayキーを押してECD/温度設定画面を呼び出します
- Edit/Enterキーを2回押して(または操作⑥に引き続き)TimeConst.にカーソルを点滅させます
- Select/+/-キーを押して設定値を選択し、Edit/Enterキーを押して入力を確定します

⑧ 温度設定



- Displayキーを押してECD/温度設定画面を呼び出します
- Edit/Enterキーを3回押して(または操作⑦に引き続き)Temp/Setにカーソルを点滅させます
- 数字キーで設定温度(°C)を入力し、Edit/Enterキーで入力を確定します
- 実測温度が設定温度に達すると◆マークが点灯します

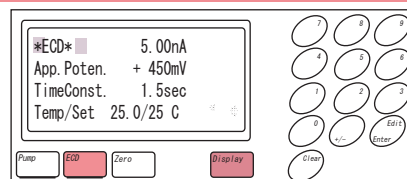
⑨ ポンプの運転



- Pumpキーを押してポンプの送液を開始します
- 運転状況を確認するにはDisplayキーでポンプ設定画面を呼び出します
- ポンプ運転時にはPUMP表示の左右に◆マークが表示されます
- ポンプ運転時には正面扉のPUMPインジケータが点灯します

* 本体電源投入直後はポンプは停止しています

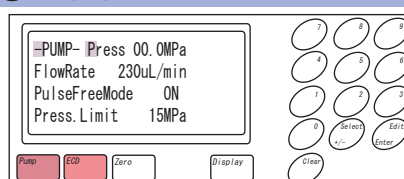
⑩ ECDの立ち上げ



- ECDキーを押して検出器の電源を投入します
- 運転状況を確認するにはDisplayキーを押してECD/温度設定画面を呼び出します
- ECDの電源が投入されているときにはECD表示の左右に◆マークが表示されます
- ECDの電源が投入されているときには正面扉のECDインジケータが点灯します

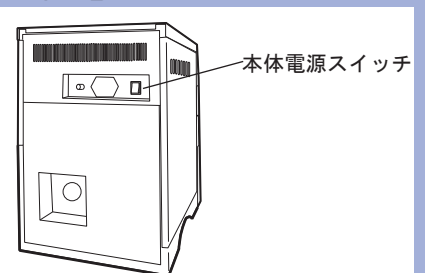
* 本体電源投入直後はECDはオフになっています

⑪ 運転停止



- Pumpキーを押してポンプの送液を停止します
- ECDキーを押してECDの電源を切ります
- ポンプおよびECDの停止時にはそれぞれの表示の左右に◆マークが表示されます

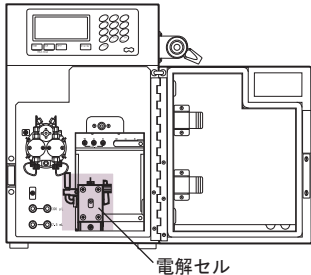
⑫ 本体電源のシャットダウン



本体背面の電源スイッチをI→Oに切り替えて電源を切ります

本書はHTEC-500/510の電極メンテナンス方法の概略を説明したものです。本装置のご使用に際しては、必ず付属の取扱説明書をよくお読み下さい。

①ECD電解セル

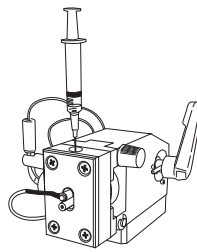


電解セル

本体正面扉を開けてECD電解セルの位置を確認します

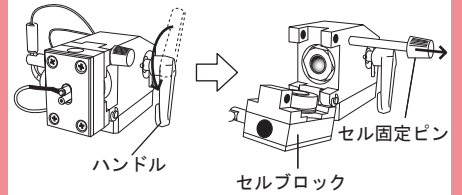
* ECD電解セルの電極メンテナンスの際は、必ず本体の電源を切って作業して下さい

②移動相の抜き取り



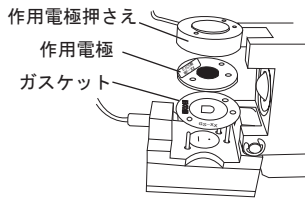
セル出口ねじを外し、ニードル付きシリンジでセル内部に残っている移動相を吸引します
通常0.5mL程度の移動相がセル内部に残っています

③電解セルを開く



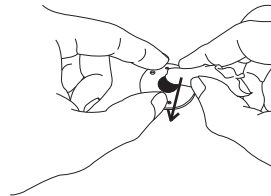
セル開閉ハンドルを下げて、セル固定ピンを抜き取りセルブロックを手前に倒します

④作用電極の取外し



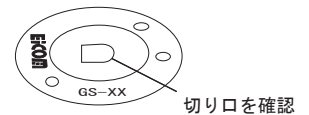
セルブロックから作用電極押さえ、作用電極およびガスケットを取り出します
作用電極、ガスケットおよびセルブロックに付着した液滴を、キムワイプで静かに吸い取るようにして取り除きます

⑤作用電極の清拭



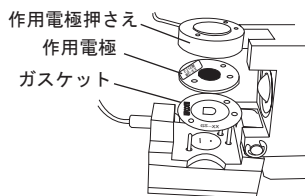
折りたんでアセトンを浸み込ませたキムワイプで、作用電極表面(磨き処理が施してある面)をやや強めの力で同一方向に4-5回拭きます
電極表面に残ったアセトンは瞬時に揮発します

⑥ガスケットのチェック



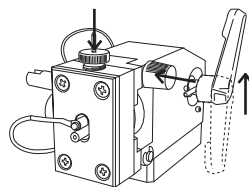
ガスケットの中央部の馬蹄形の切り口が破れたり波打っていないか確認します
このような状態がみられる場合はガスケットを交換します

⑦作用電極の取付け-1



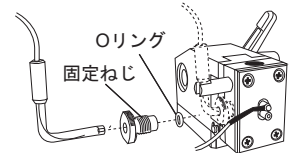
セルブロックの3本のガイドピンにあわせて、ガスケット、作用電極および作用電極押さえる順にセットします
ガスケットおよび作用電極はラベル印刷面を上向きにセットします

⑧作用電極の取付け-2



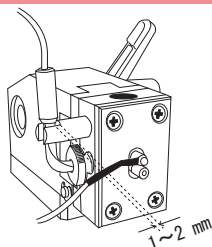
セルブロックを閉じ、固定ピンを差し込んでハンドルを押し上げます
セル出口ねじを取り付けます

⑨参照電極の取外し



②の手順により電解セル内の移動相を抜き取っておきます
セル側面の参照電極固定ねじを緩めて、参照電極を抜き取ります
参照電極内部に気泡や変色が見られる場合は新品と交換して下さい
参照電極を交換する場合は、固定ねじおよびリングを参照電極から抜き取ります

⑩参照電極の取付け



参照電極に固定ねじおよびリングを取付け、参照電極ガイドと電極の隙間が1-2mm程度になるまで電極をセルブロックに挿入し、固定ねじで固定します